

大機関紙發行部數及種類

「労働新聞」三二五〇〇〇。
出版印刷産業機関紙「時代」八〇〇〇。
婦人組合員用「労働新聞」婦人版三〇〇〇。

四、發展の原因

以上の如く評議會の勢力の増大せる原因は二にあり。一は、
これに評議會が、眞に労働組合本来の立場を確守し、一瞬間といへ共、
大衆の要求と離れなかつた事に存する。抽象的、非現実的政策をとり、非難せら
れ、中傷せられ、これがある評議會が、最も現実的であり、最も組合の集中と統一
を要求し努力して来るからである。そして、協調を排し、官憲資本家の買収
を排し、常に勇敢に大衆の戦闘的要求を代表して戦うからである。
二は、地方的に従来組合運動の無き地方に、燎原の火の如く組織の増大せ
ることは、注意すべきことである。
前述せし如く無産大衆の間に政治的要求が高まり、その具體的日常生活闘争
団体としての組合の必要を痛感し、更に組合がより大衆の現実生活の悲惨
を改善するに役立つことに依つて、益々大衆の結合を増加せしめることに
なつて来たものである。
更に産業的に注意するならば、出版労働者の組織率の増大なることと、
東洋に於ける出版労働者の殆ど全部を組織せること、金庫労働者の組
織率が多いこと、更に従来殆んど組織を持たなかつた繊維労働者の間に、
組織が強烈に要求され、短時期の間に組織率は、高率をもつてあること、更に
全国的に未組織労働者の組織が拡大され、これを見逃す事は出来ない。

労働者の生活が益々悲惨になりつゝ、あふ事案と、これに惹き、組合が眞
に労働者の日常生活の改善のために必要と見られるものがある。この理
解が、金庫及出版の労働者の間に廣まりたるのみならず、封建的、野蠻
な労働制度の下に苦しめられる繊維、木材、化学の工場労働者の間に
廣まりたる結果である。

斯くて言へば、益々全努力を未組織労働者の組織化と、労働組合勢力の
集中統一のために傾注し、これに必要ならぬ重要な時期に当面してある。(了)

大正十五年一月廿三日

日本労働組合評議會
中央常任委員會目